

by fkanclē

YURI!!! on ICE
unofficial
fanbook

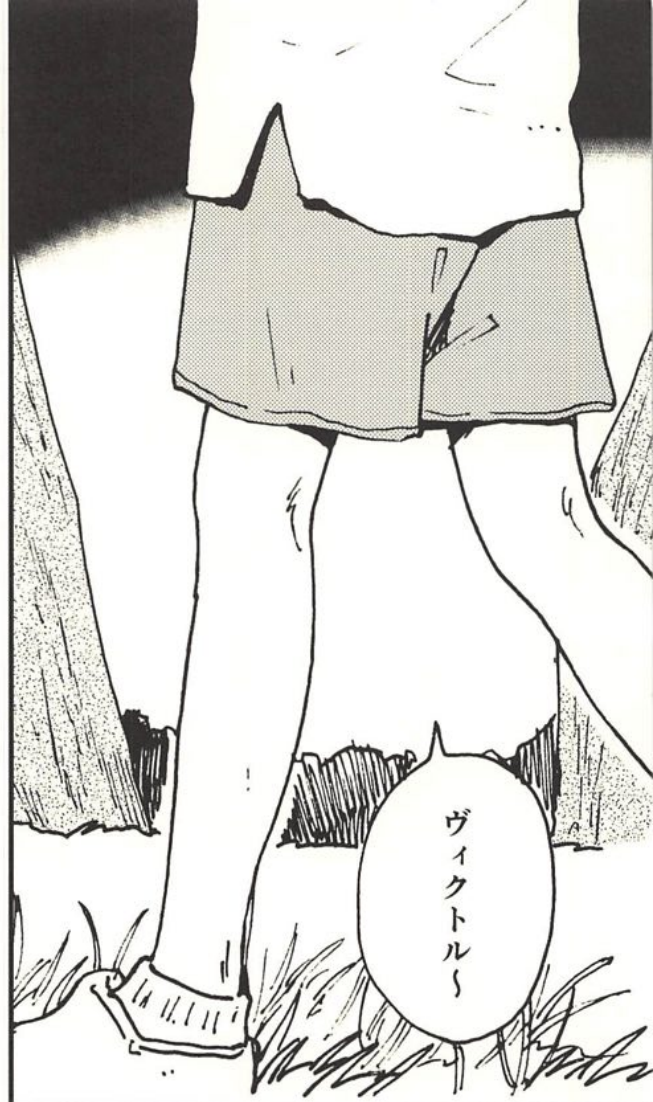
summer
サマー・ドリーム
dream

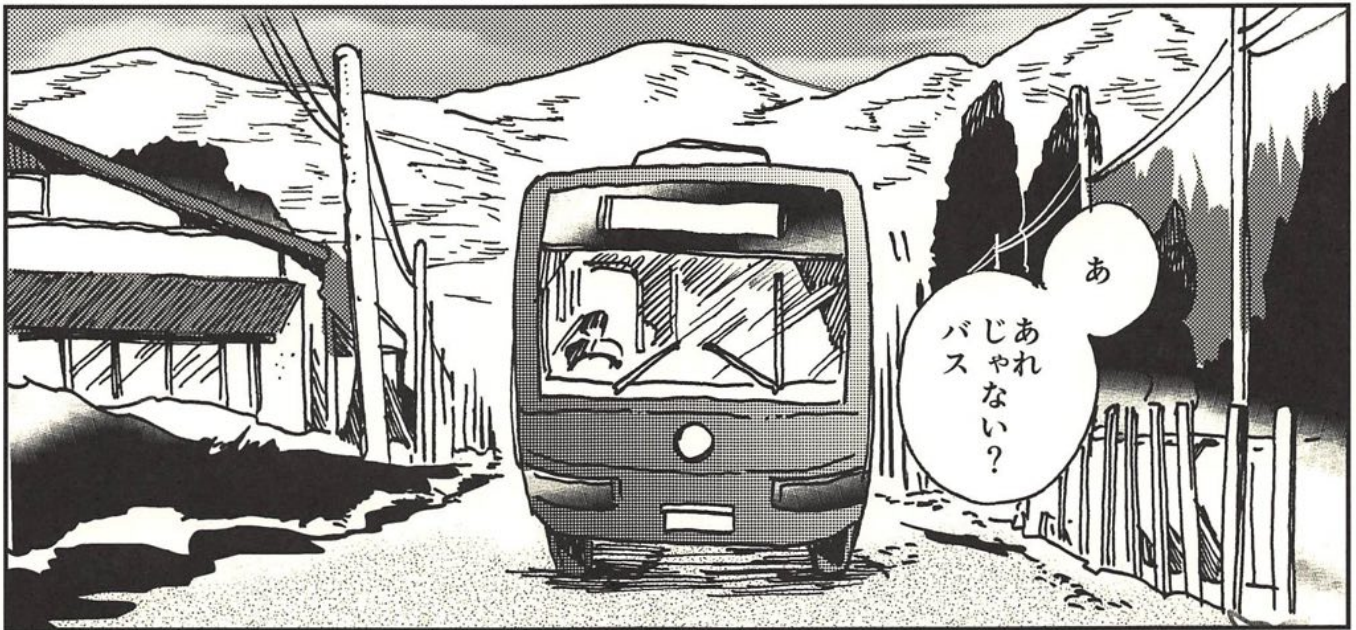
サ マ ー ・ ド リ ー ム

※ヴィク勇本です

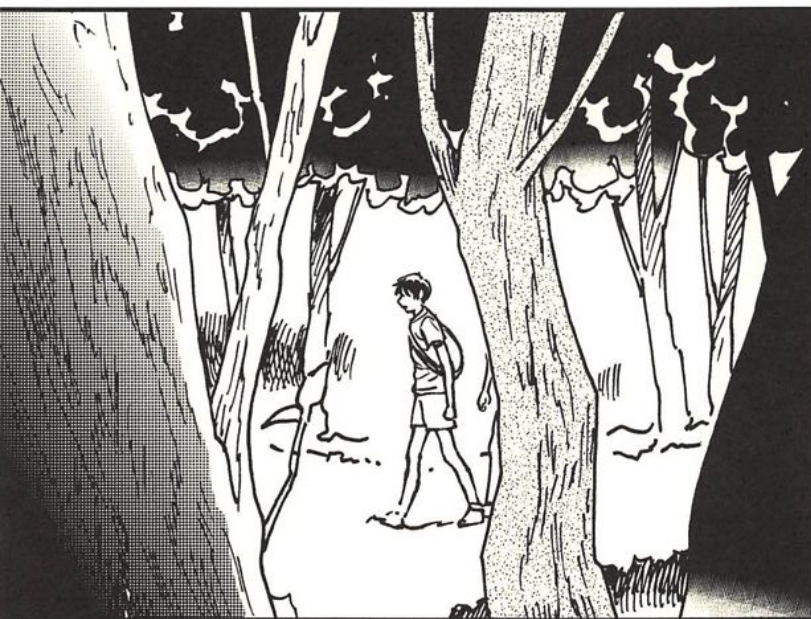
※本編4話後と、本編終了後の時系列が混在しています。

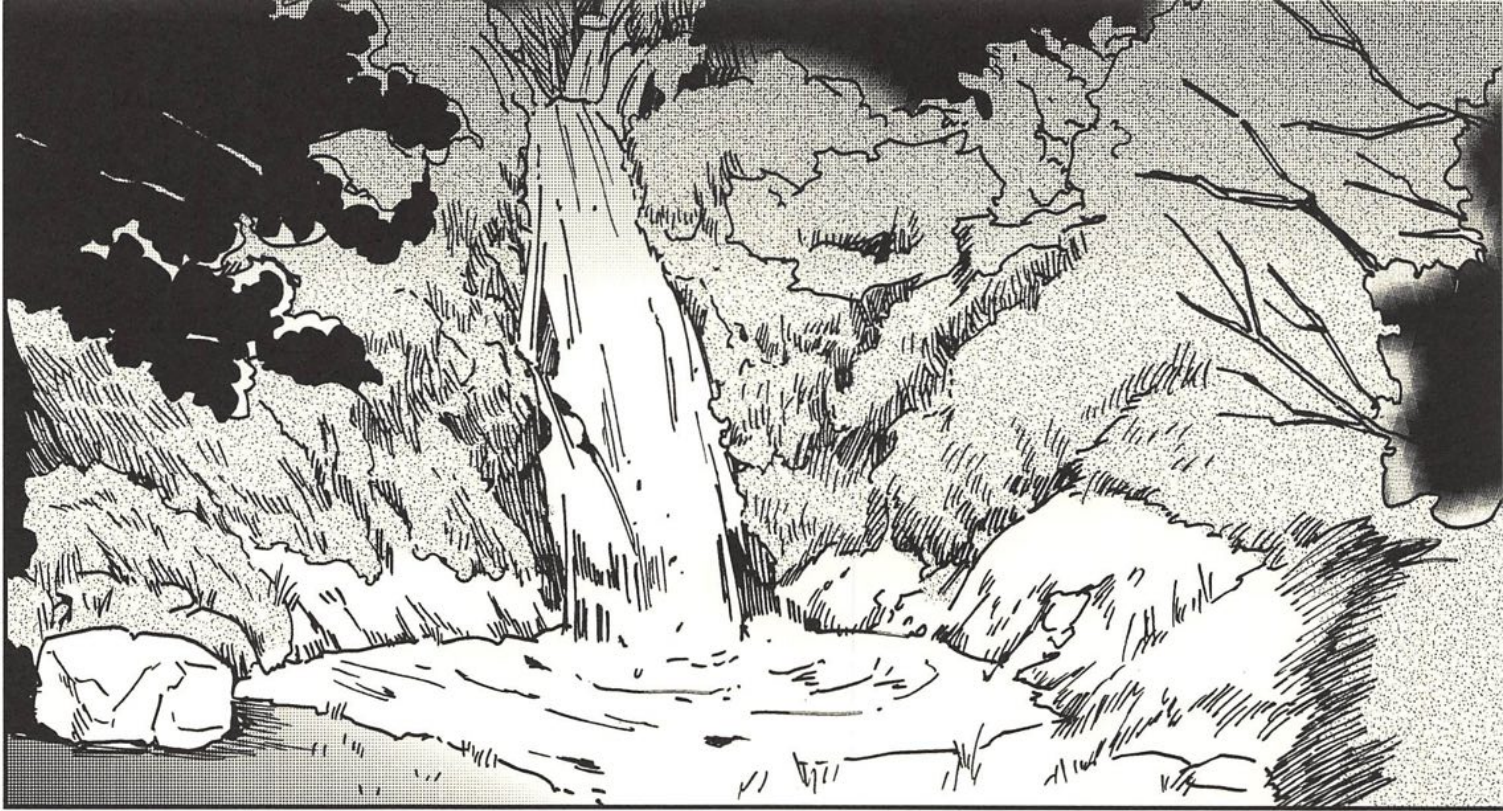




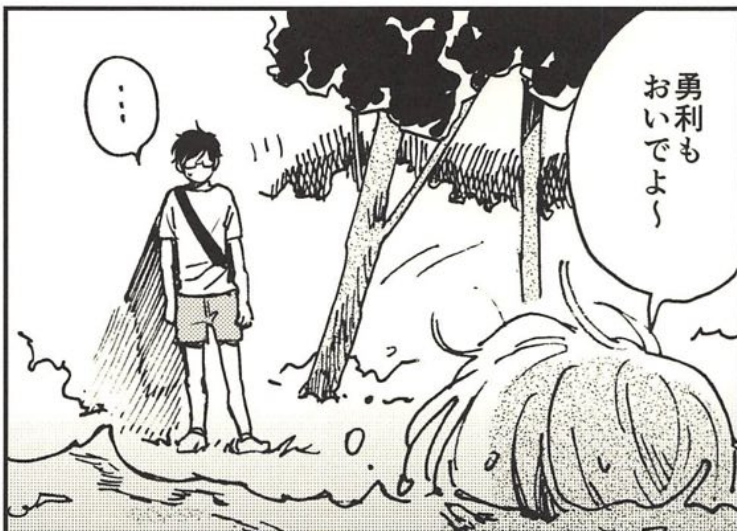








ヴィクトル?!











幸せなことを
たくさん
経験しておくよ

心が
勇敢に
なれるんだよ

……



勇気って
いうのは……

自分への
信頼だ



……だから

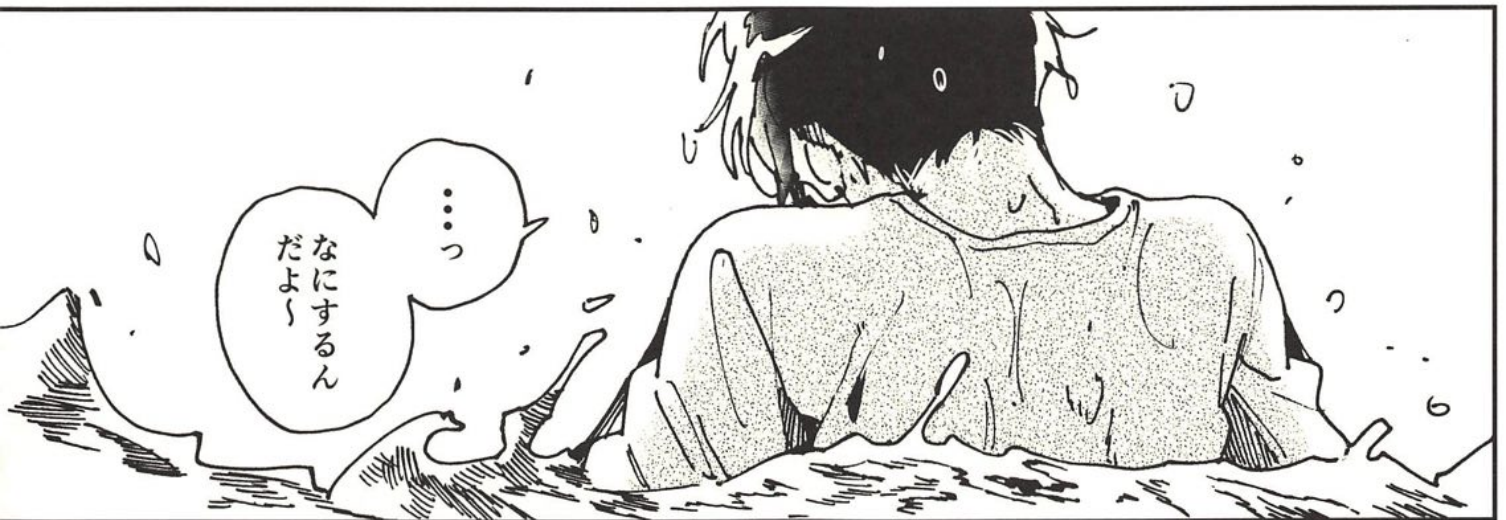


グッ



アスリートには
たくさん
勇気が必要だろ
？

……うん





明るい未来を
確信しているかの
ように
この人は
笑って見せる



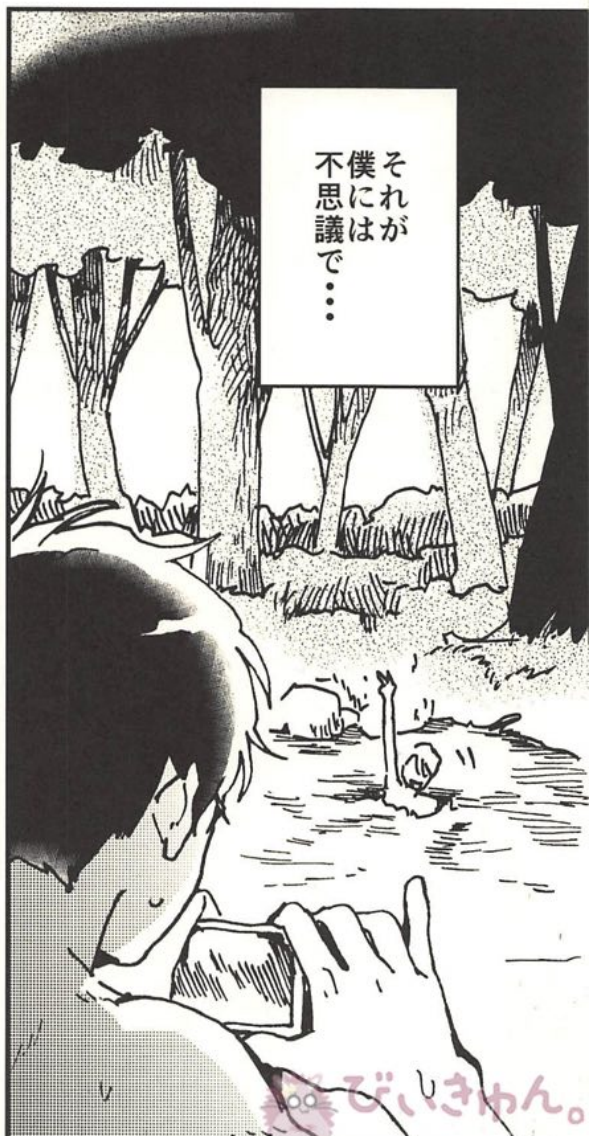
僕たちの行く末が
決して平坦でなく
いろいろな困難が
待つことを知りながら



俺たちは
きつと相性が
良いはずだから



少し
恐ろしく



それは
僕には
不思議で...



アドリブ
から出てきた

そういえば
なんで俺?

そあ
そう...

嬉しかった





明日から
フリーもたくさん
滑り込まないとね



僕が彼に
頼っているのと
同じように

彼の進退に
多少なりとも
僕が関係
しているのだから



あ



なんだっけ

前もこんな風に
言ってもらった
ような

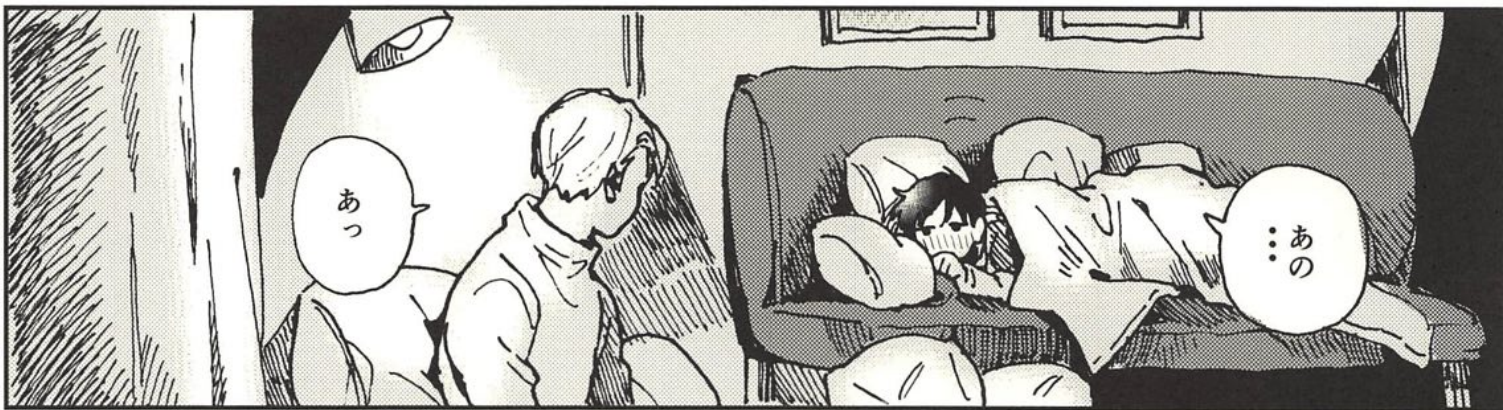
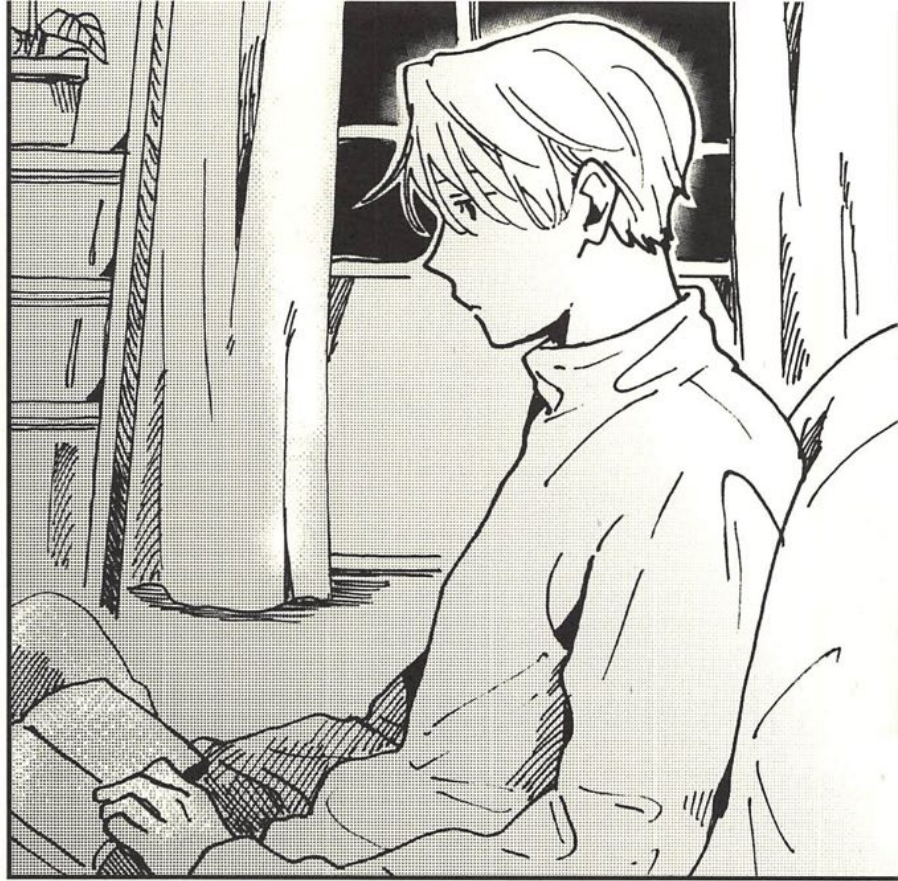


君は
強い子だから
大丈夫だよ



俺が
ついてるし









一人でも
大丈夫
だから



僕のせいで
ヴェクトルの
時間を
無駄に
したくない

……
お願い

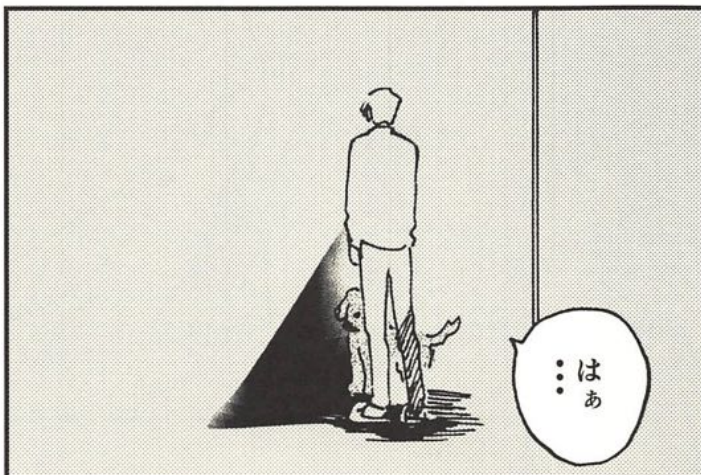
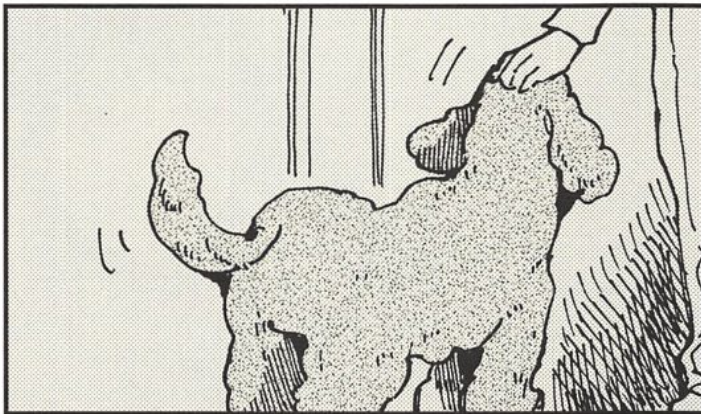


覚えてたら
帰りに
アイスでも
買ってきて
くれたら
嬉しいな

……
らいつて
しゃい

……
分かったよ
なにかあつたら
必ず連絡してくれ

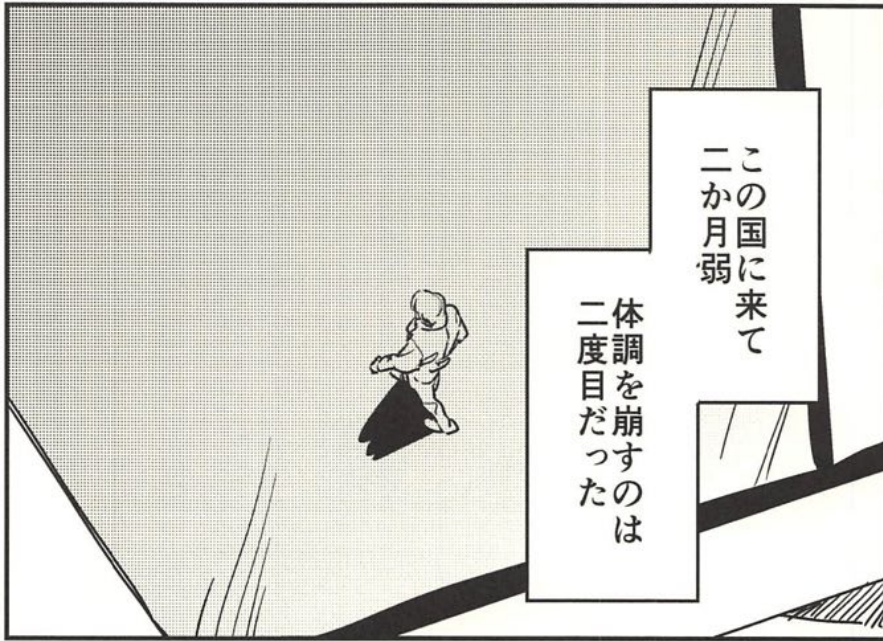
うん

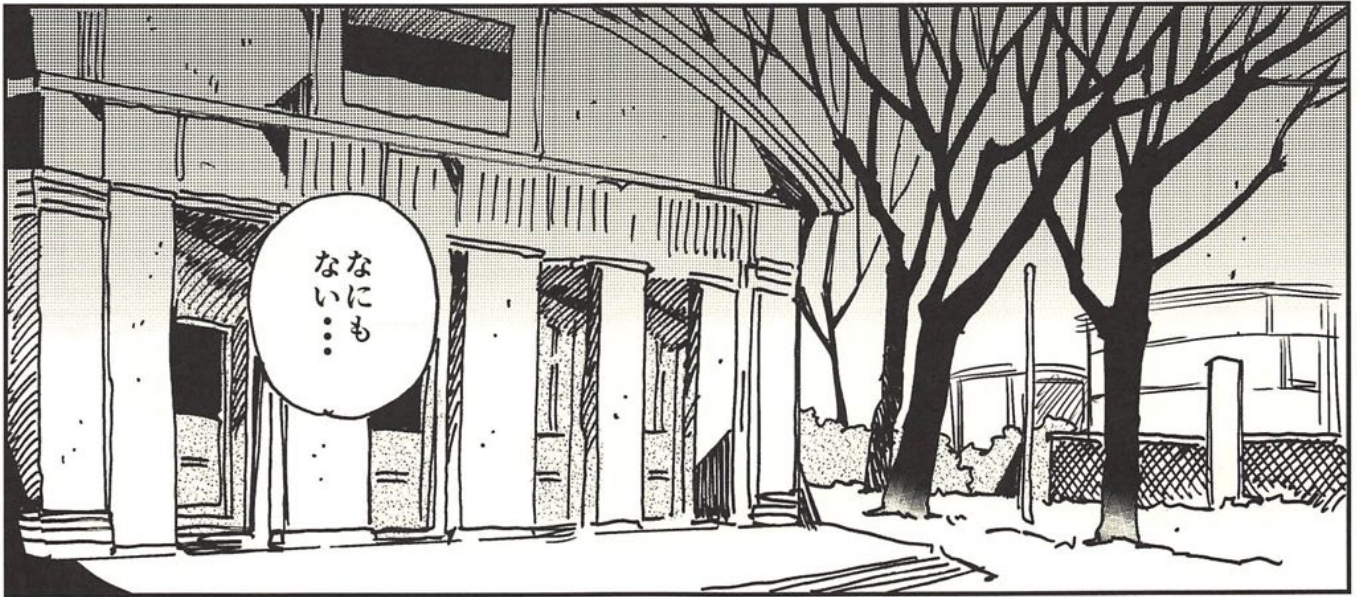


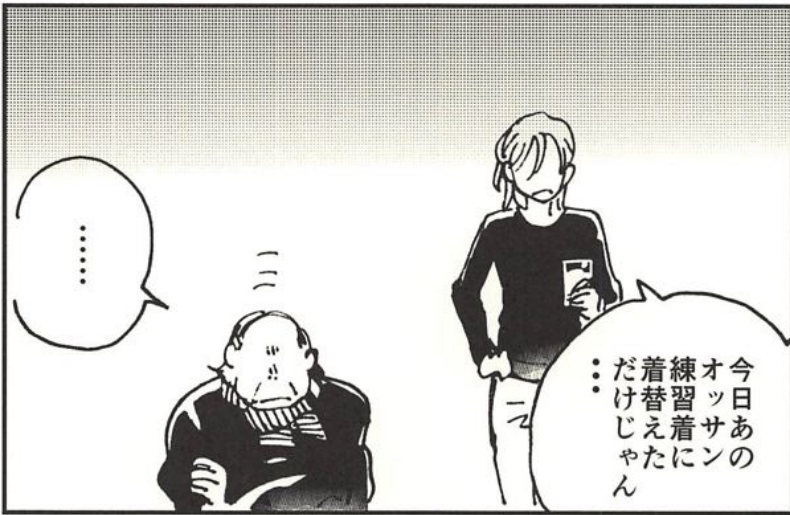
……
はあ



……







じゃっ

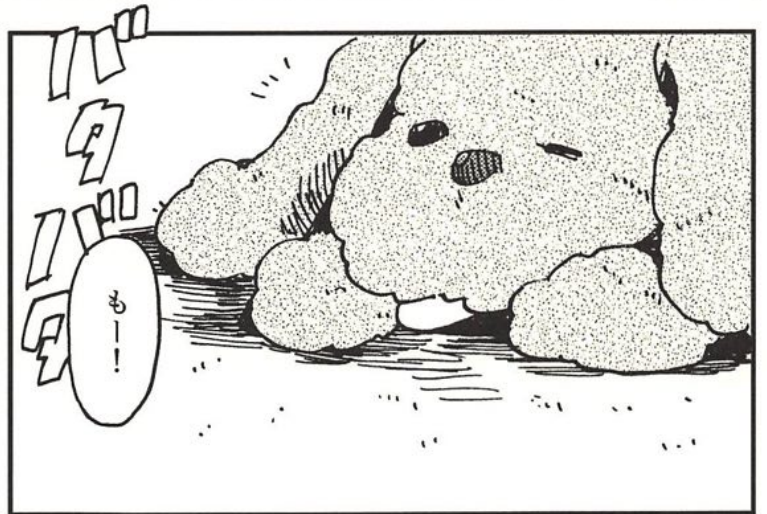
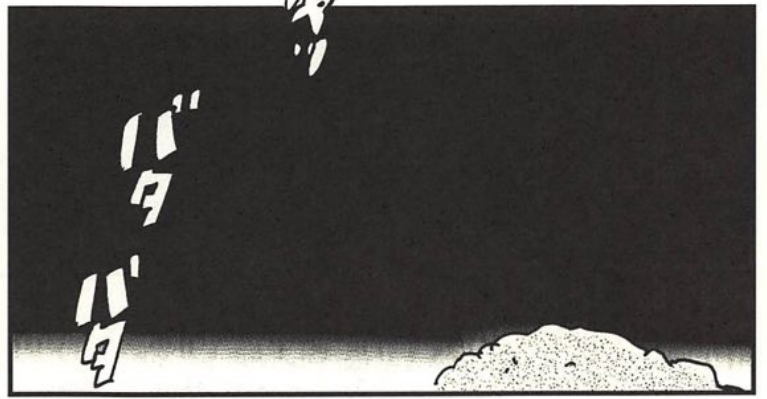
ヤコフだって俺が寝込んだら傍にいてやりたいって思うでしょ？

子どもじゃなくたって心細いときは誰にでもあつたろう

今日あの練習着に着替えたんだけど

あ？

あれ？



ごめんね
……
ヴィクトル

気遣わせて

いや……
こういうことを
する機会が今まで
無かったから

少し
楽しいんだ

なにそれ
……

こう
外が
真っ
白だとさ

うん？

夏のこと
思い出しちゃ
うんだ



あんまり暑くて

ヴィクトルはロシアが恋っていた



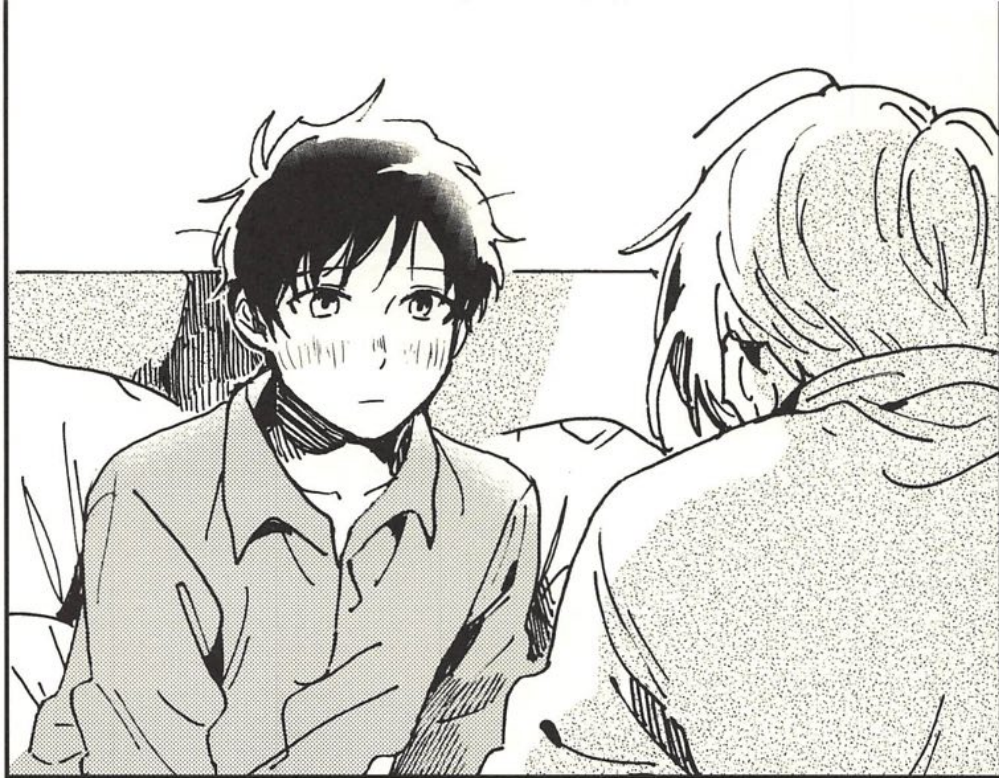
僕たちが過ごした最初の夏…



そうだったか？



冗談に決まってるだろそんなの



僕のこと
抱いてくれる？



今？

そう



言うと思った



君の体調が
優れないうちは
絶対にしない



怖い顔して
そんなこと
聞くの

ずるいね
ヴィクトル



俺のこと

残念な男
だと思っ
う？



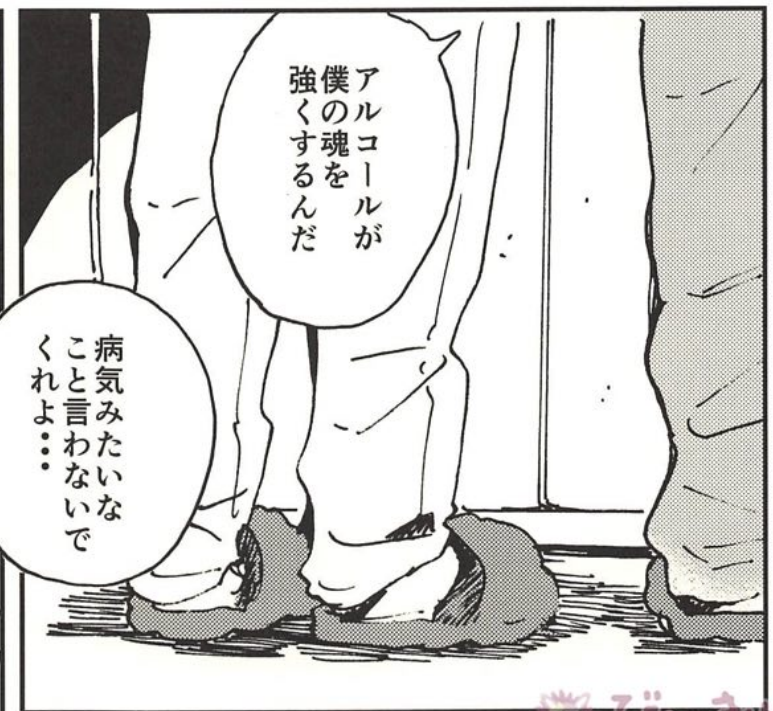
ホットワイン
飲みたいん
だけども...

セックスが
駄目なら



ヴィクトル
だって
言った
じゃん

幸せな思いをすると
心が
強くなるって



アルコールが
僕の魂を
強くするんだ

病みみたいないな
こと言わないで
くれよ...



ヴィクトル
だけ



アルコールと
あと...



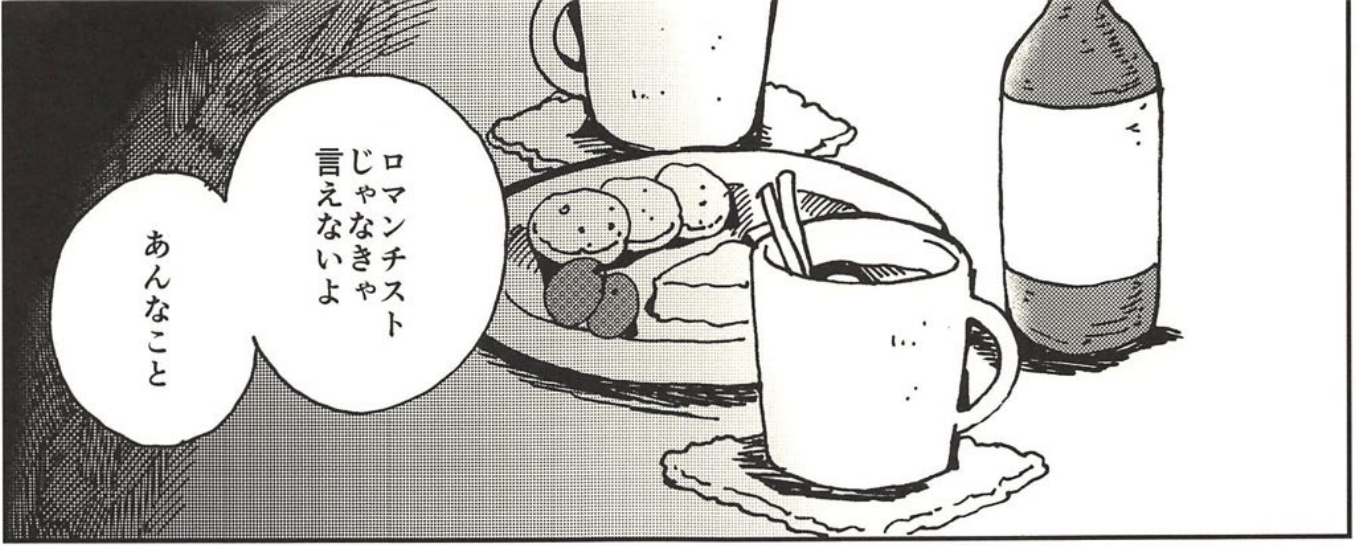
なんで
落ち込んでるん
だよ...
褒めてるのに



どう
したの？



重い







君は
コーチになれと
要求したこと
もすっかり
忘れて…

さらには
俺を置き去りにして
現役引退宣言
するよう
やつだったんだから

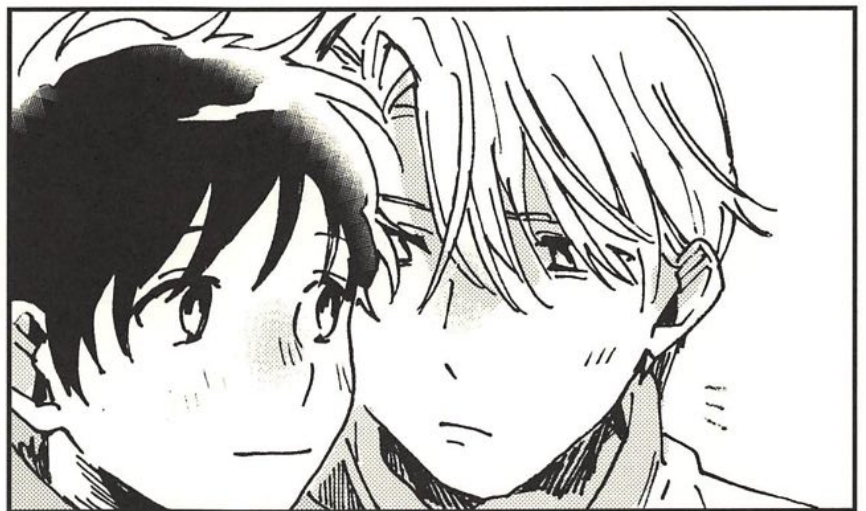
説明したって
分かりっこ
なかったら
どうせ



僕は
…ロシアに
来るとき



あなたも
いろいろ
考えてた
んだよね…



ヴァイクトルのこと
全部好きに
なろうって
思ったんだ

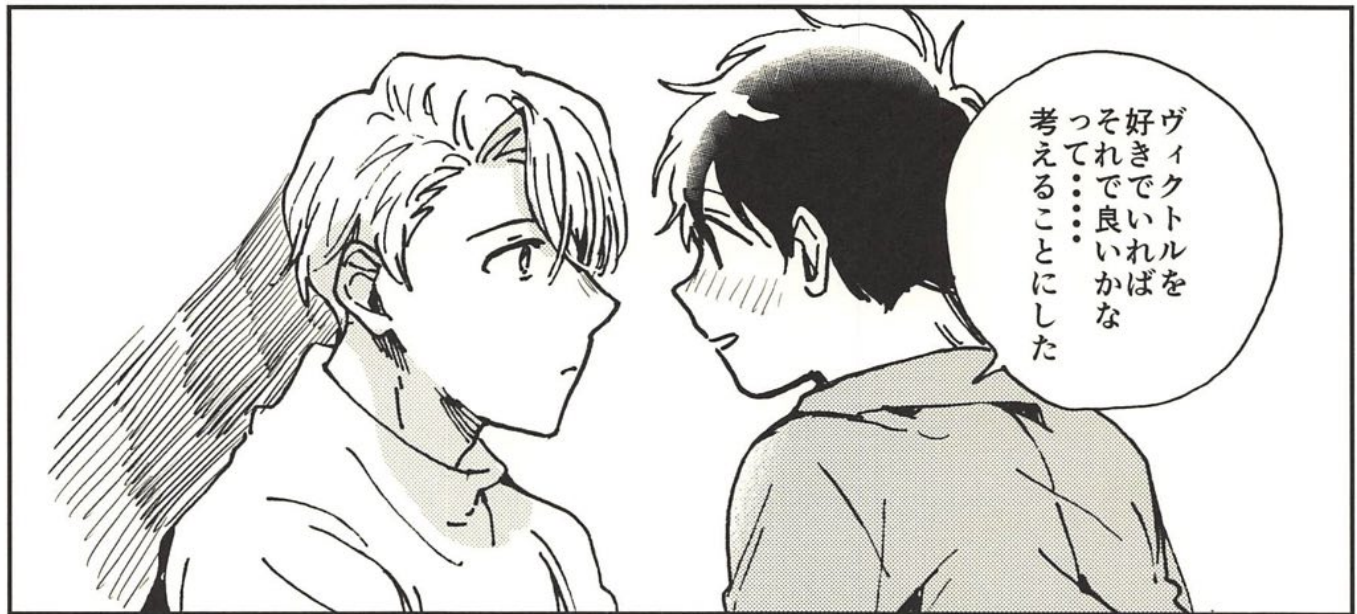
…なんとなく



ただ僕が



あなたが
正しいか
正しくないか
なんて
どうでも
良くって
……



ヴィクトルを
好きでいれば
それで良いかな
って……
考えることにした

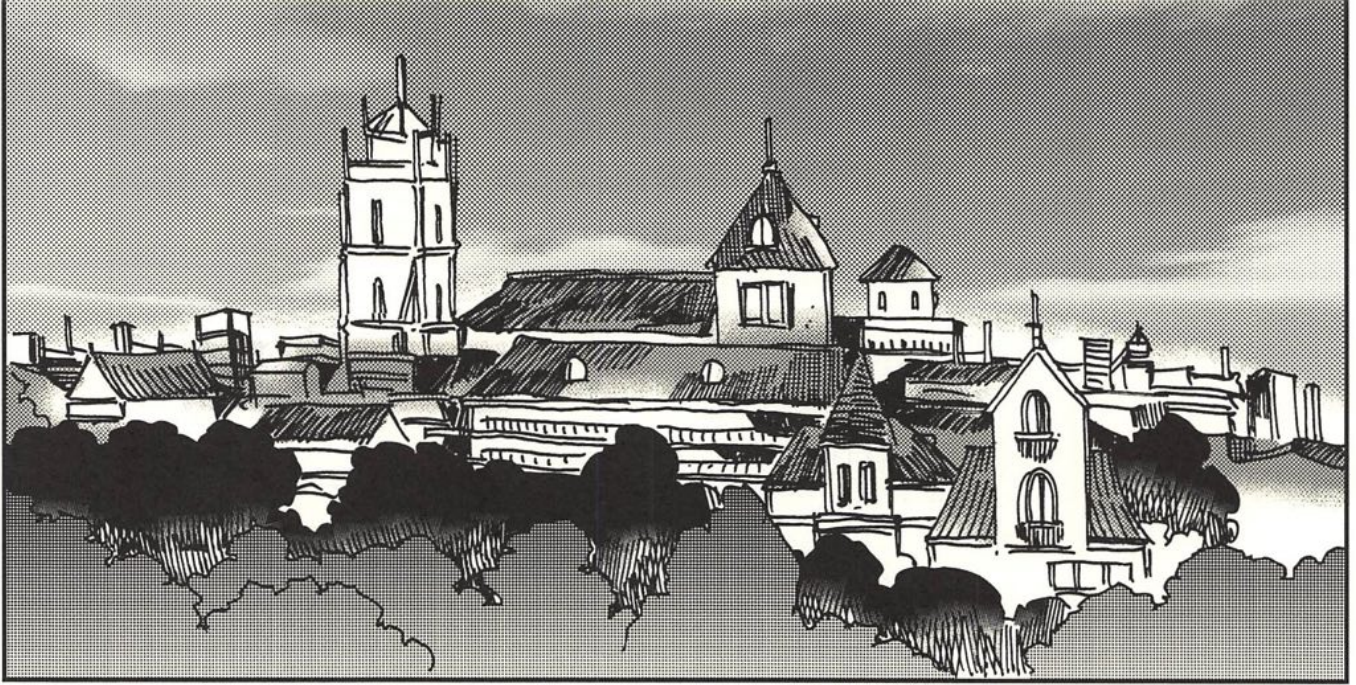


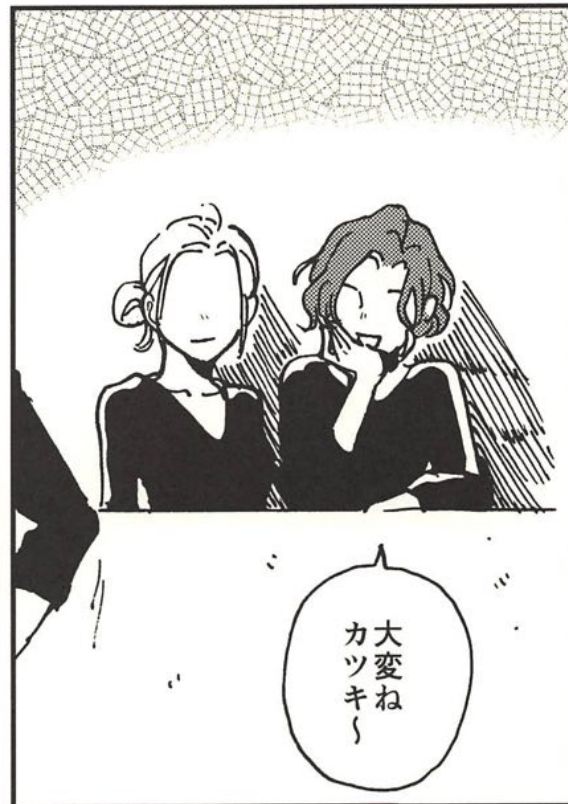
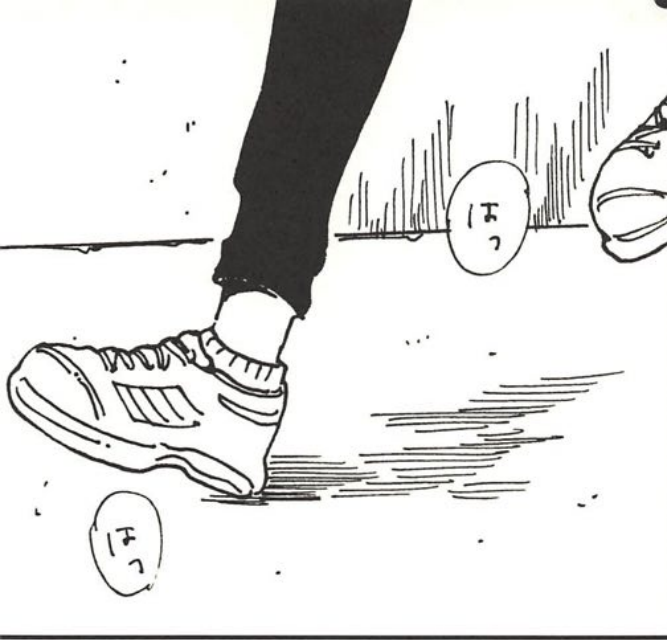
ほんとに……
相手のことなんて
考えてる場合じゃ
ないんだよ僕たち



だって
そうじゃないと
わけわかんなく
なっちゃうんだもん





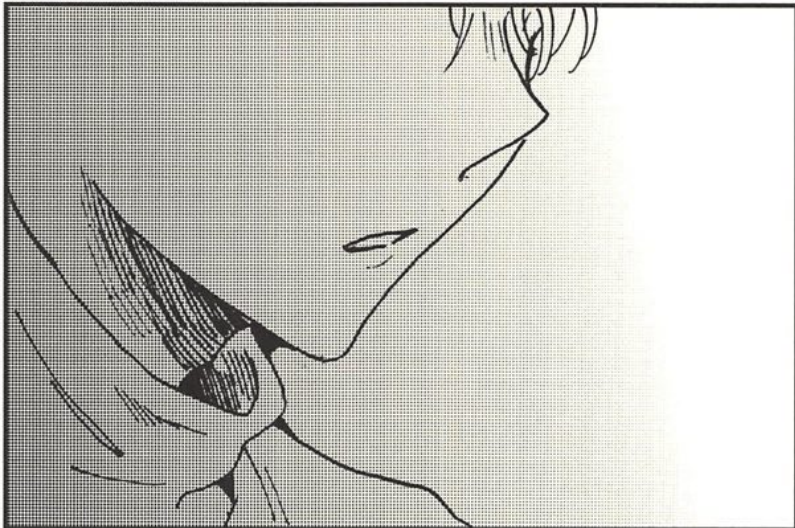




だーめ

コーチ
...

まだリンクに
上がっちゃ
駄目ですか
...



肺活量や
スタミナを
元に戻すこと
を優先した
ほうが良い

気がはやるのも
分かるけど...
もう少しだけ
辛抱しよう



じーと...

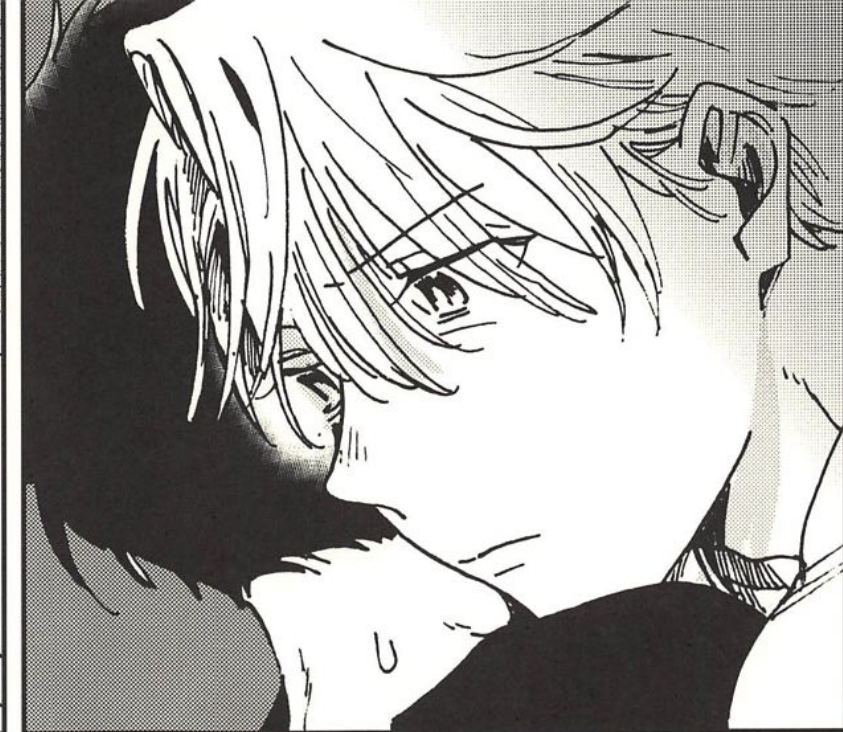
何?

つかいや...
てわいいなあ



...

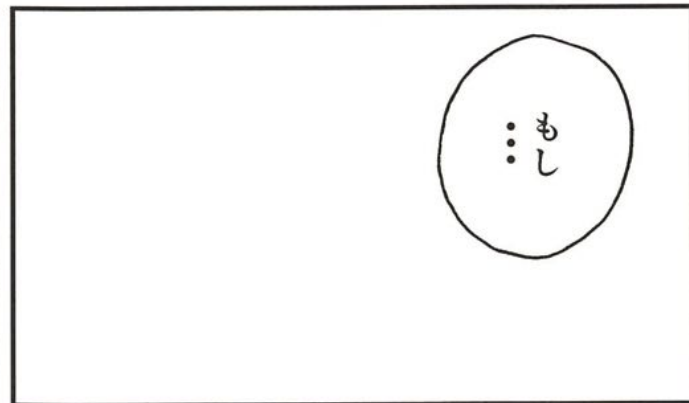
はい!



俺は絶対に
君を見つけれ
なかったし



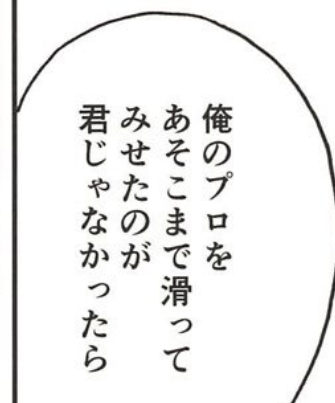
君も
俺を救っては
くれなかっただろう



もし



あのバンケットの夜
俺にコーチになれと
抱きついてきたのが
君じゃなかったら



俺のプロを
あそこまで滑って
みせたのが
君じゃなかったら



ロマンチストと
いわれるほど
俺は運命を
信じちゃ
いないんだ

? そうか



まあ……

そう
だろうね



俺たちが……
進んでいるのは
下り坂だなんて
言いたてるやつも
なかにはいるけど



ヴィクトルは
リアリストでも
あるよね

うん……



登ろうが下ろうが
進むのには
苦しいことには
変わりがないと
俺は思ってるよ



もともと
無いくせに
……



それでも
傍に勇利が
いてくれたら

怖いものなんて
無いんだけどね



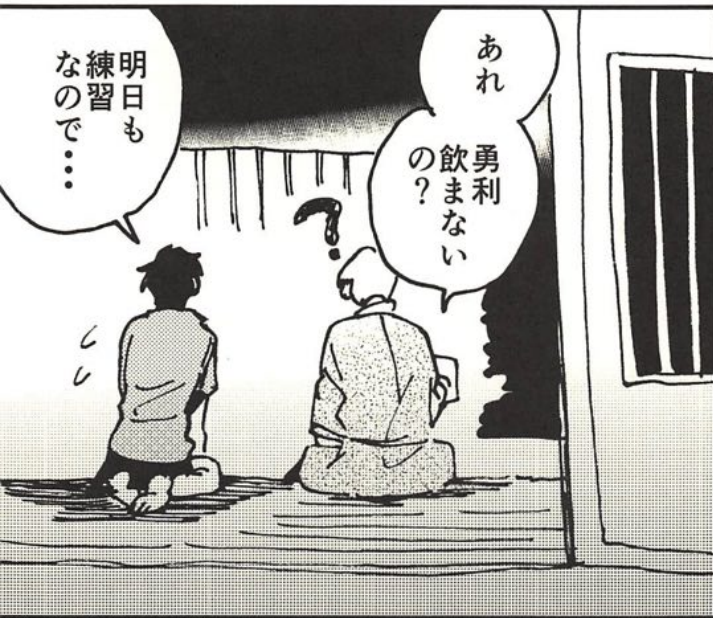
……あと
8周

寝込んだのは
3日でも
元通りになるまで
もつとかかるん
だよ

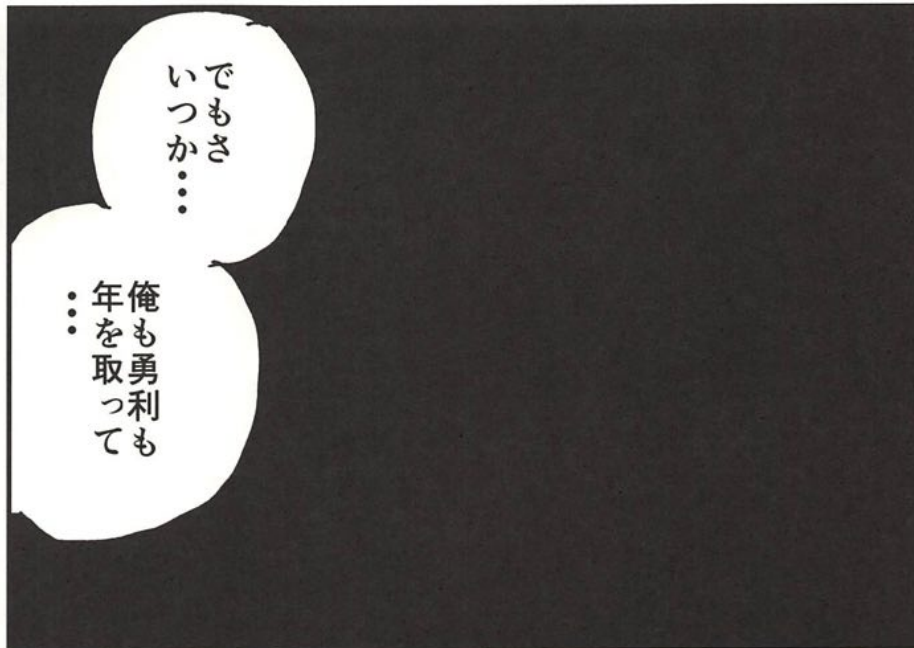
……

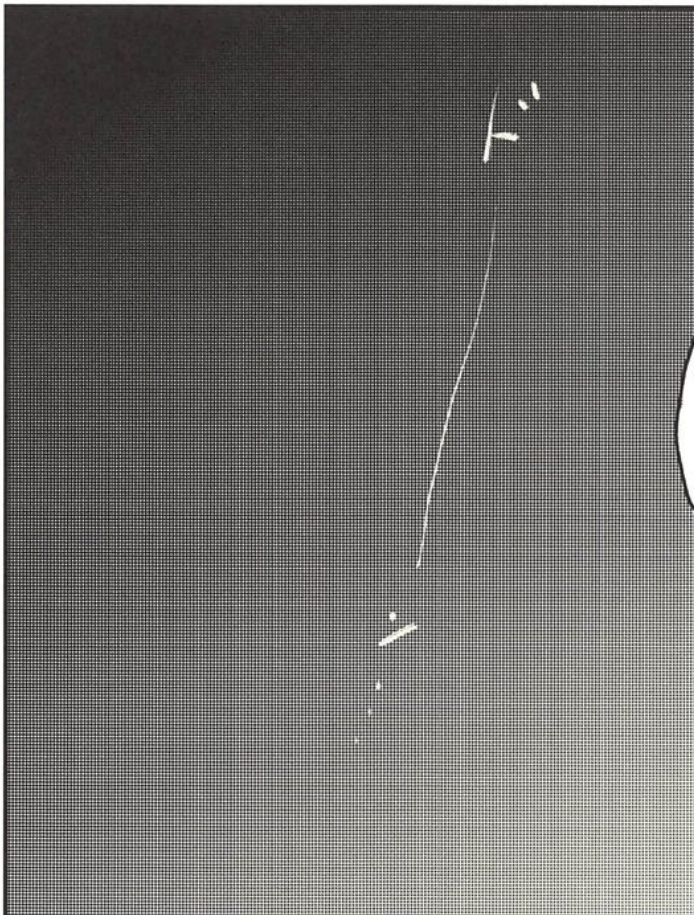
はー
かー











この本を手にとってくださって
ありがとうございました。

そしてweb拍手から感想を送ってくださった方、
本当に創作の励みになってます。
Twitterアカウントが無いため、個別に返信できず
申し訳ないです…
頂いたメッセージは全て大事に保存しています。
ありがとうございます。



web拍手△
感想やご意見など
お気軽にどうぞ

サマードリーム

発行：こたと/フランクフル / 印刷：サングループ様
Mail : kanu87@hotmail.co.jp
Pixiv : id=25454384

2018.8.19
禁無断転載
禁ネットオークション&フリマ出品

